



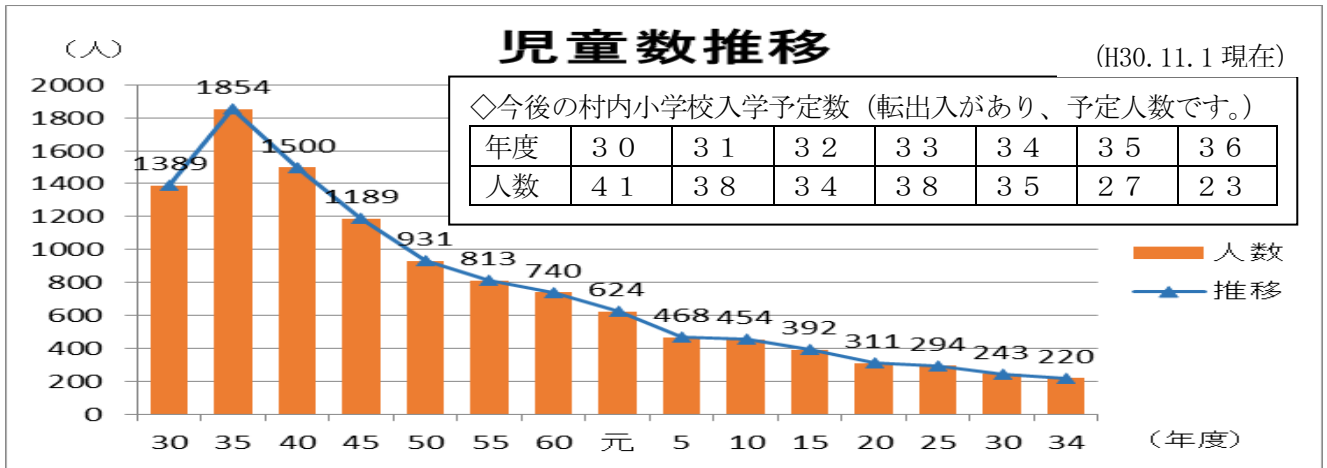
# 将来を担う子どもたちに

No.2 九戸村学校再編だより  
平成30年12月26日発行

## より良い教育環境を提供するために

### 1 九戸村の児童数の推移

下のグラフは九戸村の児童数の推移を表しており、急激に減少しています。このことは、今後も続くものと考えられます。平成36年度は、村内全ての小学校が1桁入学の予定です。



### 2 望ましい教育環境あり方検討委員会アンケート調査結果（再編の質問のみ掲載）

就学前、小中学生の保護者341世帯対象（回収率90.45% 平成29年3月調査）

◇九戸村の将来を担う子どもたちの教育環境について、あなたの考えに近いものはどれですか。

項目（アンケート調査用紙より）	%
1 現行のままでよい	22.9
2 近隣の学校と再編成をしたほうがよい	37.2
3 全ての学校を対象に、再編成をしたほうがよい（村内1校）	36.4
4 その他	3.2



○アンケート調査は、73.6%の再編を望む結果となりました。その中で、近隣校との組み合わせを検討しましたが、再編後も複式学級が編成される場合や、一時的に複式学級は解消されるものの、児童数が一桁の学級が編成されるなど将来に不安を残す結果となりました。

（近隣校との組み合わせは、平成34年度の例です。詳細は、「望ましい教育環境あり方検討委員会だより 別紙アンケート調査による再編シミュレーション」を参照下さい。平成29年4月発行）

### 3 村内再編一校の理由

望ましい教育環境あり方検討委員会では、子どもたちを本村の適正規模の基準に（1学級18人から20人程度）近づけることが、クラス替えや集団での学校生活が適切に行われ、小規模校のメリットを生かしながら、デメリットを解消できると考えます。近隣校との再編を望む意見の中でも、段階的に村内1校とする意見がありましたが、再編シミュレーションの結果や教育改革の現状、今後の児童数の推移から、近隣校との再編よりも村内1校に再編することが子どもたちの望ましい学校規模と考えましたので、ご理解のほどよろしくお願い致します。